

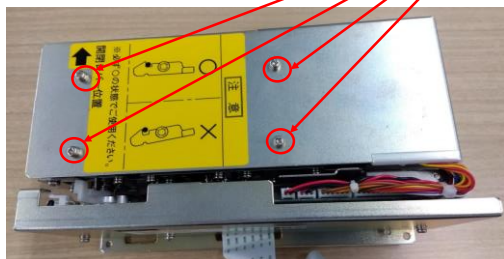
KC24A-067_TCU-201D(電源無しタイプ) _MCR-320エンジン取外し_取付方法

KC24A-067
2024年12月10日
東洋エレクトロニクス株式会社
カードRWサポート窓口

MCR-320エンジンが修理不可の場合は、以下の手順でMCR-320エンジンを取外し、新規購入のMCR-320エンジンを組付けてください。

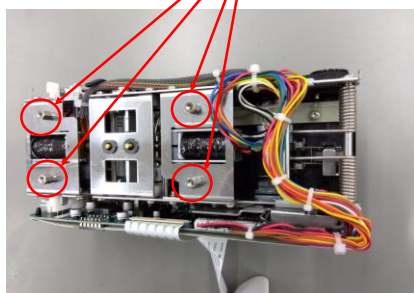
1. MCR-320エンジン (RWシャーン付) の取外し方法

1. ネジ 4本を外し、
RWカバーを
外す。

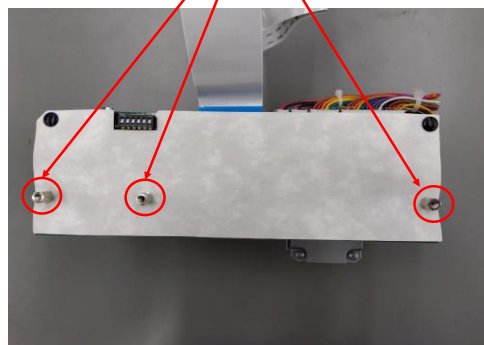


2. ネジ 3本を外し、
基板カバーを
外す。

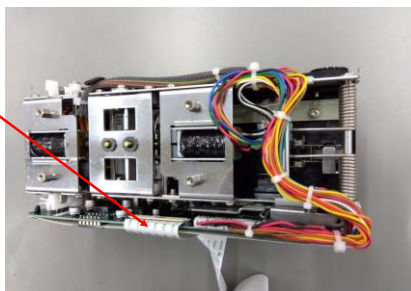
3. ステー(BSB-306E) 4個、
カラー(CB-301E) 4個
外す。



4. ステー(BSB-308E) 3個
M3小丸座金 3個
外す。



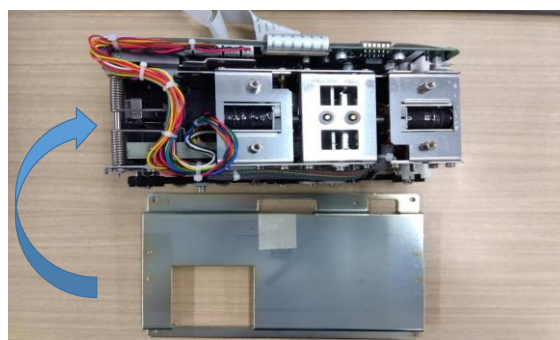
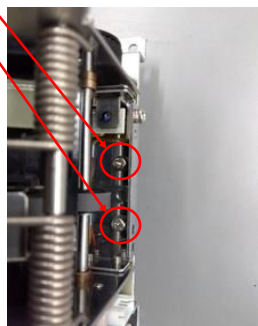
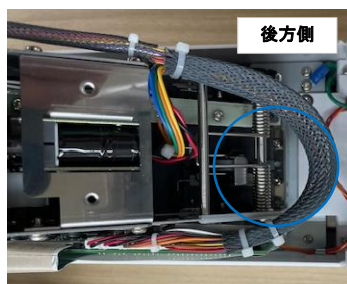
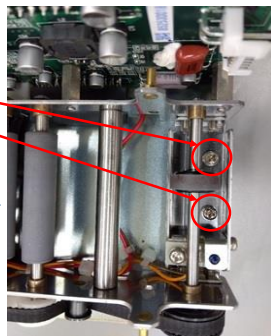
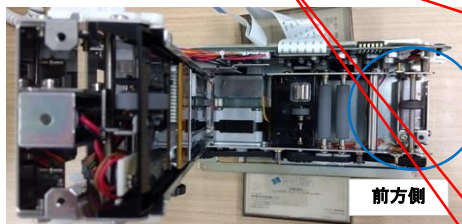
①



5. 制御基板の
フラットケーブルを外す。

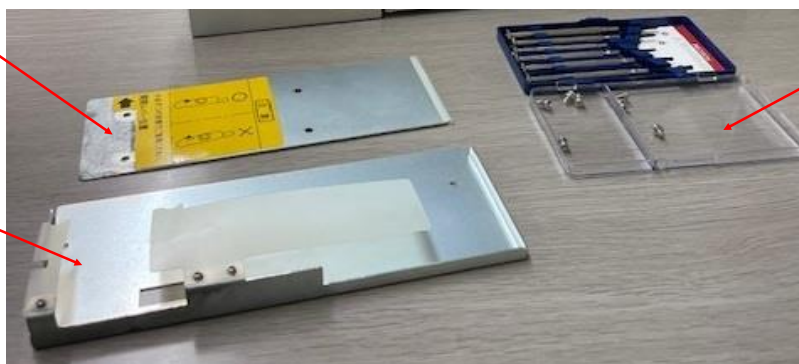
① RS232C
フラットケーブル

6. MCR320エンジンの 前方(カード挿入側)の2本、
MCR320エンジンの 後方の2本の
ネジ、合計4本を外しMCR320エンジンを
RWシャーシから外す。



1の RWカバー
(紛失しない様に
してください。)

2の 基板カバー
(紛失しない様に
してください。)



1, 2の ネジ 7本
3の スター、カラー 各4個
4の スター、座金 各3個
6の ネジ 4本
RWシャーシ
(紛失しない様にしてくだ
さい。)

6の RWシャーシ

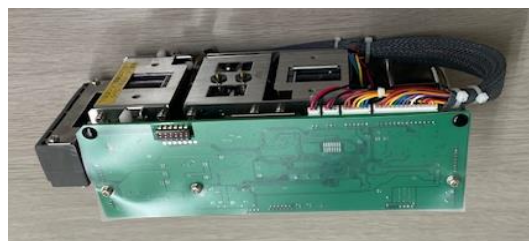


2. 新規購入のMCR320エンジン入荷後の作業

MCR-320エンジン 写真1



MCR-320エンジン 写真2



- (1) 項番1の 5で外したフラットケーブルを新規購入のMCR-320エンジンに接続する。
- (2) 新規購入のMCR-320エンジンを 項番1の 6を参考にRWシャーシに取付ける。
- (3) 項番1の 4で外した座金3個、スネー3個を取り付ける。
- (4) 項番1の 3で外したカバー4個、スネー4個を取り付ける。
- (5) 項番1の 2で外した基板カバーを取り付ける。
- (6) 項番1の 1で外したRWカバーを取り付ける。

これで作業は終了です。

【参考用】ディップスイッチの説明

② MCR-320 (TCT-217、TCE-210、TCU-201)

目 的	スイッチ (OFF=0、ON=1)							内 容	出荷時
	1	2	3	4	5	6			
通信/テスト 動作切換	0					0		通信動作	●
	1					0		テスト動作	
通信速度設定 注. 1		0	0			0		9600bps	客先仕様
		0	1			0		19200bps	
		1	0			0		38400bps	
		1	1			0		57600bps	
サーマルヘッドの 抵抗値切替え 注. 2				0	0	0		680~740Ω	機器の調整値
				0	1	0		741~800Ω	
				1	0	0		801~860Ω	
				1	1	0		861~920Ω	

[テスト動作] 電源投入時ディップ・スイッチ 1 を ON の状態で有効

目的	スイッチ OFF=0 ON=1		内 容		備考
	2	3	R/W/Pユニット	発行機	
テスト動作 内容設定 注. 1	0	0	磁気R/Wテスト (前方挿入、前方排出)	←	
	0	1	消去+印字テスト (前方挿入、前方排出)	←	＜PETカード対応＞ 全面漢字/横縞交互 ＜PVCカード対応＞ 90度回転漢字/横縞交互
	1	0	消去テスト (前方挿入、前方排出)	←	
	1	1	追記印字テスト (前方挿入、前方排出)	フィードテスト (ホッパ排出、前方飛出)	＜PETカード対応＞ 消去/1行漢字印字 ＜PVCカード対応＞ 90度回転漢字印字のみ

注. 1 [テスト動作]のディップ・スイッチ 2 と 3 はテスト動作内容指定になるため、通信ボーレートは 9600bps 固定とする。また電源投入後も変更可能となる(ディップ・スイッチ 2, 3に限る)。

注. 2 [サーマルヘッドの抵抗値切替え]のディップ・スイッチは端末型式が MCR-320B 以降で端末ソフトバージョンが 1.20 以降の場合、設定が無効となる。
(サーマルヘッドの抵抗値をフラッシュメモリにライトして対応しているため)

以上